

社会資本総合整備計画														防災・安全交付金		令和06年12月16日	
計画の名称	松阪市における浸水対策と地震対策の推進																
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）												重点配分対象の該当				
交付対象	松阪市																
計画の目標	浸水地域の改善を図るため、浸水対策を実施することにより安心安全な市民生活の確保を図る。 地震災害による市民生活の影響を軽減するため、耐震性の向上を図るべき施設の耐震化を行い、下水を流すなどの基本的な機能の確保を行う。 また、経年劣化に伴う施設の老朽化に伴い、更生・更新を行うことによって施設機能の延命を図る。																
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		190	A	190	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R9末	R11末
1	松阪市下水道総合地震対策計画で長期目標に掲げた地震対策計画の策定率を0%（R7当初）から100%（R8末）とする。			
	平成23年度に策定した松阪市下水道総合地震対策計画で長期目標に掲げた地震対策計画の策定率	0%	100%	100%
	耐震化実施計画の対象となった面積/長期目標に掲げた耐震化の対象となった面積（2787.4ha）			
2	下水道施設の耐水化計画の策定率を0%（R7当初）から100%（R10末）とする。			
	下水道施設の耐水化計画の策定率	0%	50%	100%
	耐水化計画策定済の施設/耐水化計画を策定すべき施設			
3	下水道ストックマネジメント計画で定めた污水管渠の点検実施率を0%（R7当初）から100%（R11末）とする。			
	下水道ストックマネジメント計画で定めた污水管渠の点検実施率	0%	50%	100%
	下水道ストックマネジメント計画で定められた点検実施済の污水管渠マンホールの数/下水道ストックマネジメント計画で定めた点検すべき污水管渠マンホールの数（1298基）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	松阪市	直接	松阪市	管渠（ 污水）	改築	1-A1-1 松阪全処理分区 污水管渠耐震化計画実 施（地震対策）	計画策定業務 一式	松阪市						40		-	
	A07-002	下水道	一般	松阪市	直接	松阪市	-	-	1-A1-2 松阪全処理分区 耐水化計画（浸水対策 ）	計画策定業務 一式	松阪市						50		-	
	A07-003	下水道	一般	松阪市	直接	松阪市	管渠（ 污水）	改築	1-A1-3 松阪全処理分区 污水管渠（ストックマ ネジメント）	污水管渠の点検調査 一式、 施設機器更新 一式	松阪市						100		-	
												小計						190		
											合計						190			

事前評価チェックシート

計画の名称： 松阪市における浸水対策と地震対策の推進

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本計画・上位計画と適合している。(松阪市総合計画)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
I. 目標の妥当性 1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
I. 目標の妥当性 2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
I. 目標の妥当性 3) その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 松阪市における浸水対策と地震対策の推進	交付対象	松阪市
計画の期間	令和7年度 ～ 令和11年度 (5年間)		

